

平成29年度西成区運営方針の取組一覧

経営課題1 子どもが育つ環境の充実						
めざす状態	具体的取組	取組実績	目標			部会
			指標	目標値	結果	
子どもが夢を持ち、健やかに育つ環境を整えるなど、多くの区民が子育てしやすいまちを実感できる状態をめざす。	・プレーパーク事業	・平成29年4月15日～平成30年3月26日（83日間）の開催で11,079人が利用	プレーパークの一日あたりの利用者数	平均約80人以上	平均133人	教育部会
	・こども食堂支援事業	・開設補助や事業補助を活用し、区内7ヶ所のこども食堂が存在し、子どもの居場所として利用されている。 ・区内こども食堂のネットワーク化により、情報共有やフードバンク等企業との連携が始まり、少しずつ運営の安定化に繋がっている。	こども食堂を区内で開設・運営	区内6ヶ所 (概ね区内6中学校区に1ヶ所)	区内7ヶ所	
	・西成区基礎学力アップ事業 (西成まなび塾)	・対象は区内の中学生 ・参加登録者数（平成30年3月末現在） 鶴見橋中学校:14人、たちばな会館:24人、玉出老人憩の家:20人 合計 58名	参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を測る項目について肯定的な意見	70%以上	学力が上がったと答えた生徒 60% 勉強時間が増えたと答えた生徒 50%	
	・基礎学力向上支援事業 (西成ジャガピースクール)	・区内小学3・4年生を対象に、区内小学校全11校で実施（夏休み期間、平日の放課後及び土曜日に実施） ・定員440名に対し307名が参加（参加率69.7%）	事業初日と最終日に実力テストを実施し、得点がアップする児童の割合	70%以上	・漢字テストを受検したうちの99%が成績上昇 ・算数テストを受検したうちの80%が成績上昇	
	・西成区こども生活・まなびサポート事業	各モデル校（1中学校・2小学校）に、こども生活・まなびサポーターを1名ずつ配置、またエリア管理者を1名配置し、教員をはじめとした関係機関と連携し、児童生徒の課題解決へ向けた効果的な活動を行った。	学校に遅刻すると回答する児童生徒の割合が、平成31年度に現在の大阪市平均並みになるよう、平成29年度はその1/3の進捗	小学校は18.4%以下 中学校は14.8%以下	実施校の平均約10% (昨年度：約20%)	
経営課題2 あいりん地域対策						
めざす状態	具体的取組	取組実績	目標			部会
			指標	目標値	結果	
官と民が協働して取組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、多くの住民が安心して暮らすことができていると感じる状態をめざす。	・不法投棄対策	・毎日14時～翌6時までの不法投棄防止を目的とした巡回活動の実施 ・区民の20%を超える生活保護受給世帯へ家庭ごみの出し方チラシを郵送し、適正なごみ出しの啓発を実施（約22,000通） ・公園への不法投棄の原因究明のため、実地での聞き取り調査実施	公園内への不法投棄対策を強め、平成29年度のあいりん地域内のごみの不法投棄量について、平成28年度に比べて、一般廃棄物・産業廃棄物ともに削減	2割削減	一般廃棄物 6.9%減 産業廃棄物27.2%減	西成特区構想部会
	・迷惑駐輪対策	・住吉神社前通線自転車置場の一部整備 ※H30年4月19日までに約270台供用開始 ・毎日、自転車置場の清掃及び整理整頓を実施 ・長期放置自転車の撤去（1,503台）	あいりん地域内の迷惑駐輪台数を、平成26年度末時点約4,500台（推計）から約2,500台を削減	迷惑駐輪台数 概ね2,000台	迷惑駐輪台数2,518台	
	・野宿生活者の自立支援	・あいりん地域野宿生活者自立支援プログラムの活用により、野宿生活者を居宅生活へ移行させた。 ・南海電車高架下の野宿生活者へのアウトリーチ実施により、適切な支援（入院・入所）へ繋いだ。 ・野宿生活者等支援に向けた実務担当者レベルの会議の開催（計4回）	あいりん地域に居住する野宿生活者に対して、居宅移行に向けた支援を行い、居宅生活へ移行させる。	3名以上	4名	
	・防犯カメラ・安全対策拠点運用	【防犯カメラ】 ・通学路の安全確保のため、防犯カメラ52台の安定運用実施 ・捜査関係事項照会 82件 【西成区安心安全活動拠点 あいステーションの活用】 見守りボランティア連絡会、警察との打合せ等に活用	区民アンケート等で「いまみや小中一貫校の通学環境がよくなったと感じる」、「どちらかといえば良くなったと感じる」と回答した人の割合	50%以上	52.6%	
	・結核健診の拡充による患者の早期発見	・西成区保健福祉センターでの健診を月17日程度実施 ・あいりん地域内健診を45回（内、夜間2回）実施 ・西成区内医療機関での健診39カ所委託実施 ・検診車による地域健診を9カ所実施	西成区内で生活保護を受給している65歳以上の人の胸部X線検査実施率	50%以上	40.21%	
	・あいりん地域の結核患者支援の充実	・あいりんDOTS開始数 拠点型48名、訪問型24名 ・あいりんDOTS実施者のつどい（月1回開催 延べ250名参加） ・あいりん結核患者療養支援事業（居所がない患者に居所を確保し、治療中断を防ぐ） 地域内個室46名、地域内大部屋21名利用	あいりんDOTS（肺結核患者に対する服薬支援）の実施率	80%以上	96.8%	

経営課題3 防災・防犯・空家対策						
めざす状態	具体的取組	取組実績	目標			部会
			指標	目標値	結果	
区民・地域・事業所・行政が連携して大規模災害に対する備えを行うとともに、犯罪のおこりにくいまちづくりをすすめる、平時においても、万が一の時にもすべての区民が安心安全に暮らすことができる状態をめざす。	・地域防災活動事業 —地区防災計画作成—	地区防災計画の作成：4地域 (長橋・千本・北津守・天下茶屋)	事業実施した地域へのアンケートにおいて「住んでいる地域特性に応じた、災害時の対応」が理解できたと回答した割合	50%以上	97%	情報発信部会
	・地域防災活動事業 —地域防災の担い手の発掘・育成—	・地域防災リーダー、防災協力事業所合同での「防災アドバンス講習会」 地域防災リーダー：16地域 防災協力事業所：20事業所 合計72名参加	講習会受講者のうち、「地域の防災活動に積極的に関わってほしいと思う」と答える割合	70%以上	99%	
	・防犯対策事業	・青色防犯パトローラー及び自転車による巡回 ・防犯啓発キャンペーン（ひたくり防止カバー取付32箇所2,300枚） ・防犯交通安全教室（小学校12回、保育園等4回、施設2回）	平成29年の街頭における犯罪発生件数を減少させる	前年度より減少させる	H29年 860件 (H28年 955件)	
	・自転車等安全利用啓発事業	・交通安全区民大会（4・9月） ・めいわく駐車・駐輪追放キャンペーン(11・12月) ・放置自転車合同啓発活動	区民アンケート等により、交通ルール・マナーに関する意識が高まったと回答する区民の割合	前年度以上	42.4% (前年度 20.8%)	
	・空家等対策推進事業	・特定空家等の所有者調査及び是正に向けた助言、指導を実施 ・広報紙（8月号）及びホームページで、空家の適切な維持管理等に関する啓発を実施 ・空家の管理、活用に関するセミナーの開催（11月）	特定空家等の解体や補修等による是正件数	5件以上	6件	

経営課題4 地域・にぎわい・福祉・人権						
めざす状態	具体的取組	取組実績	目標			部会
			指標	目標値	結果	
地域活動に関わりの少ない人達をはじめ、あらゆる世代の区民や福祉施設などのさまざまな活動主体が協働して、地域活動と人・団体等が交流し、にぎわいとうるおいのあるまちづくりを進めることで、すべての区民が住みなれた地域で安心・安全に暮らせ、すべての人権が尊重されるまちの実現をめざす。	・地域コミュニティ支援事業①	中間支援組織を活用しながら地域活動協議会の支援を行った。 ・組織運営や、会計処理にかかる支援 ・新たな担い手の確保、他の様々な活動主体との連携・協働、及び地域公共人材の活用にかかる支援 など	本市の実施するアンケートにより、中間支援組織による支援が、地域にとって適切であると感じている割合	75%以上	89.2%	情報発信部会
	・地域コミュニティ支援事業②	・CB/SBに関する研修会の実施（1回） ・外部団体等が開催する、CB/SBに関する講座等の情報提供（5回）	CB/SBにかかる説明会・研修会等に参加した人のうち、CB/SBや事務事業の社会的ビジネス化についての意義を理解できたと答えた参加者の割合	50%以上	6%	
	・緑化推進事業	・講習会の開催：年7回	区が関与したCB/SB企業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数	1件	0件	
	・西成区簡易宿所設備改善助成事業	観光客等受入増加を促すために、区内既存の簡易宿所の設備改善等を行う事業者に対して設備改善工事費の2分の1を補助する。	簡易宿所で観光客等受入のための設備改善等を行う。	区内10ヶ所以上	6施設	西成特区構想部会
	・西成区イメージアップ推進事業	・観光マップの配布やSNS等を活用した、西成区の魅力の発信 ・区内の観光資源をPRするスペシャリストを養成するため、西成まち歩きガイド養成講座を開催した（11月～12月、計5回開催）	区民アンケート等で、西成区のイメージについて「良い」、「どちらかといえば良い」と回答した人の割合	50%以上	37.2%	西成特区構想部会 情報発信部会
	・西成区地域福祉アクションプラン推進・支援事業	アクションプラン推進委員会及び各部会の定期開催支援 推進委員会 3回、作業部会 10回、 地域課題の解決にむけた専門部会 30回	アクションプランで取り組む項目の達成度(充分取り組んでいる「◎」・ある程度取り組めた「○」・まだまだ不十分「△」)	すべて「○」以上	すべて「○」以上	西成特区構想部会
	・単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業	・あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する社会貢献プログラム等の提供（毎日）、及び金銭・服薬管理等に関する支援（随時）	「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上	社会的つながり：87.5% 生活が改善：68.8%	
	・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	要援護者名簿の地域への提供に係る同意取得や認知症高齢者の登録等のほか、見守り支援ネットワークによる孤立世帯等への専門的対応（平成29年4月から30年3月末までの相談件数1,058件）	・要援護者名簿の地域への提供に係る同意取得 ・同意に未回答者であった名簿登載者の長期入院や施設入所の調査・所在確認 ・認知症高齢者の登録者数を増やす ・協力者の登録者数を増やす	・同意取得：6,000件 ・所在確認：7,000件 ・認知症高齢者の登録者数：3倍以上（9名） ・協力者の登録者数：1.5倍以上（165件）	・同意取得：7,724件 ・所在確認：8,693件 ・認知症高齢者の登録者：47名 ・協力者の登録：221件	
	・人権尊重のまちづくり	人権を考える区民のつどい（2回） 人権講座（3回）	人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業に参加して人権意識が高まった」と回答した参加者の割合	70%以上	人権を考える区民のつどい：77.3% 人権講座：86.4%	情報発信部会